「まちづくり」ニュース!!「まちなか」に行ってみたくなる…

＜祝２周年・よって見んしゃい軽トラ市多久＆元気玉まつり＞

去る5月12日（日）、毎月第2日曜日に開かれている「よって見んしゃい！軽トラ市多久」の2周年記念イベントが開催されました。当日は天候にも恵まれ、早朝にもかかわらず大勢のお客様にお越しいただき、会場は大いに盛り上がりました。

軽トラ市2周年をさらに楽しくしてくれたのは地元若手元気集団「ハピたくらぶ」による元気玉まつりです。彼らが企画したアトラクションは保育園児によるかわいい演技、よさこい軍団による華麗な舞、力強い鼓動の東部太鼓、おやじバンドに楽しいアトラクションもあったりして、軽トラのお店でお買い物をしながらお客様に楽しんでいただく仕掛け満載でした。

なお、総合司会はFM佐賀のパーソナリティー「たつじ」さんと「まいこ」さん。毎週月曜日のお昼12時から放送の「ハロー多久」でおなじみのお二人は会場内走り回りながらの大活躍でした。

次回は6月9日（日）の午前8時から午前11時まで多久駅北駐車場で開催です。鮮魚、野菜、惣菜、おまんじゅう、雑貨等々。卵の抽選会のイベントもあります。みなさんおいでください。

＜都通り朝市＞

都通りの朝市は毎週火曜日と木曜日の午前8時30分から午前11時に野菜と鮮魚の店舗が店開きします。場所は多久駅からすぐ、京町商店街に隣接する都通りの中心。日本一小さな朝市として紹介されたこともある本当に小さな朝市です。のんびりまったりした雰囲気で、買い物ついでにお客様は世間話に花を咲かせます。

朝市前の「ふれあい広場」は椅子に座ってほっと一息するには最高の場所です。取材したときはツルバラが全盛期でした。

日々のお買い物にお気軽にお越しください。

事務局便り

多久駅周辺まちづくり新聞は多久市まちづくり協議会が発行する新聞で、多久駅周辺の活性化のための様々な動きを皆様にお伝えすることを目的としております。協議会は平成21年から活動を始め、これまでに多久市に住むあらゆる世代の方々と街のあり方について協議検証をしてまいりました。その成果や経過を街の主役であるそこに住まう人たちと情報を共有することがこの新聞の役割だと考えております。どんな世代にもわかり易く興味を持てる紙面にするよう努めますので、皆様方の忌憚のないご意見やご提案をお待ちしております。

なお、協議会のことがもっとわかるホームページとFacebookもあります。多久市商工会のホームページのリンクからアクセスしていただくと簡単にご覧いただけます。

タウンマネージャーの井手智章です。みんなのたまり場⇒多久駅周辺にしたいです。

まちづくり担当職員の西田かおりです。皆さんのお役に立てるように頑張ります。

次号は平成 25 年 8 月 1 日（木）の発行です。

多久駅周辺まちづくり新聞
第４号
2013年（平成25年）6月1日土曜日
発行：多久市まちづくり協議会
お問い合わせ先：多久市まちづくり協議会（多久市商工会内）
TEL：050-3527-6896
E-mail:takumachidukuri@lagoon.ocn.ne.jp

少しずつ変わっていく多久駅周辺…これまでとこれから

多久駅

多久駅南側の公園

多久ステーション南ハイツ

JR多久駅周辺が徐々に変わってきています。平成8年から工事が始まった多久駅周辺の土地区画整理事業も終盤を迎え、これから本格的な街並みづくりが始まろうとしています。

今回は、みなさまから「多久駅の周りはどがんなっとかい？」という素朴なご質問にお応えし、ここ数年の駅周辺の変化とこれからの予定についてご報告させていただきます。

これまで

多久駅南側から始まった開発も多久駅舎完成を機に多久駅北側の開発に移ってきました。まちなか居住の一角を担う公営団地「多久ステーション南ハイツ」が完成したのもこのころです。その後、北口の駅前広場、駐輪場、多久駅北駐車場などの整備が順次行われ、それに続く形で店舗や住宅が少しずつできあがってきています。

げんざい

そして現在、多久駅の横を流れる山犬原川の親水護岸工事が行われております。これは、多久駅の北側と南側とをつなぐ遊歩道を新設する工事であり、「水辺空間として癒しと潤いのある街」をつくるための工事です。

護岸工事完了後、いよいよ中核施設の工事が始まります。建物ができあがるのは来年の夏。この施設は、多久駅周辺の賑わいの核となる施設で、「多世代にわたる身の丈にあった居場所づくり」の拠点を具現化するための空間と機能を有しています（中核施設の詳細は次回以降のこの新聞でご報告します）。ではこれから多久駅周辺はどのように変わっていくのでしょうか。

これから

市内の事業者や市民、まちづくりグループで構成される「多久市まちづくり協議会」が考えるまちづくりの目標は、多久駅周辺の居場所づくりです。駅前に魅力的な店舗や便利な店舗、医療福祉施設など多世代が集える街並みを目指します。店舗と住宅が自然に混在し、気軽にお散歩できる駅前そんな街です。協議会は数年後の多久駅周辺のまちを次のページのようにイメージし、それに向けて協議検討しています。なお、このイメージは現時点のものですので、これからの話し合いよってさらにいいまちになるよう見直していきます。

多久駅北駐車場

駐輪場

駅前広場

数年後はこんな多久駅周辺に…将来イメージ

多久市まちづくり協議会は、多久駅周辺の数年後の将来の姿について「コンパクトに集約された市街地」を想像しています。具体的には次のイメージです。

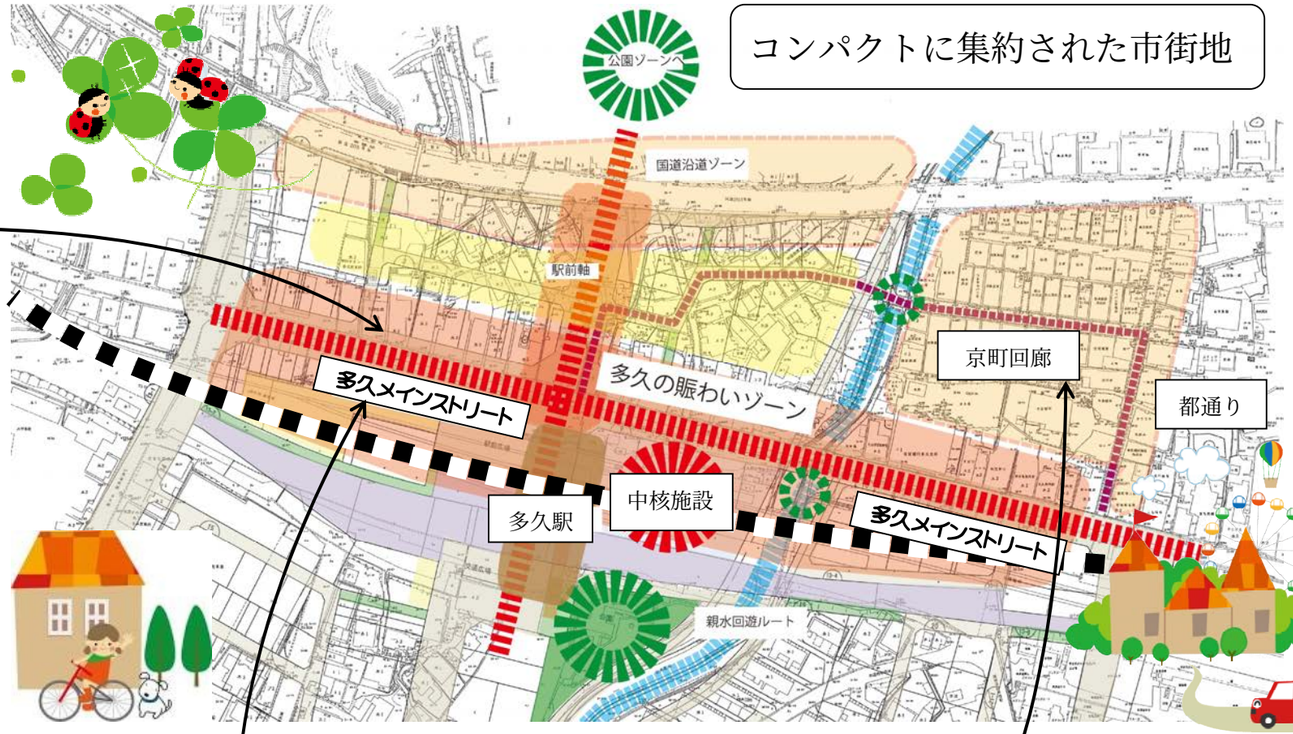
■まちなかにいつも人がいる、人の声がする。
■若い人からお年寄りまで多世代の人々が暮らす。
■日々の暮らしに必要な施設や店がある。
■周辺地域の人々が集まってくる。
■緑や花などが街のあちこちにある。

そしてそのイメージを具現化した将来の街並みは、多久駅北口の道路・歩道が整備され、住居と店舗が自然に混在し、京町や都通りを回遊路として、お散歩しながらお買い物も楽しめるようになってほしいと考えています。日常生活に必要なお店や、生活に潤いを与えるお店、美味しい料理が食べられるお店、医療福祉施設や賃貸住宅などが多久駅周辺に点在し、お年寄りが集まり、若者のたまり場にもなるそんな「まちなか」です。季節を感じる花と緑が街にあって、通りに椅子や机が並べられ、ここに来れば何か楽しいし便利。そんな街並みです。

そのためにはこれからの数年、やらなければならないことはたくさんあります。電線地中埋設や歩道整備などの都市機能の更なるインフラ整備は勿論、店舗誘致や分譲住宅・賃貸住宅の供給、そして圏域の人たちが気軽に駅周辺へ来られるよう、公共交通手段の再構築もしなければなりません。そしてこれらの活動は、今後長期にわたって続く少子高齢社会に対応するために、多久が多久であり続けるために必要なことだと考えています。

そこに暮らすみんなでつくる「まちづくり」にみなさんもご協力ください。

■駅前通りのイメージ



■駅前通りの店舗整備イメージ

駅前通りは店舗と住居が自然に混在し、医療福祉関係や公共性のあるサービス店舗もあって、歩きやすい歩道が整備されることをイメージしています。

■古きものも活かして回遊性を（イメージ）

多久駅前の通りから京町商店街への回遊路ができあがります。多久駅前と京町商店街・都通りでお買い物ができればいいですね。また、山犬原川の親水護岸工事により、多久駅の北側と南側がつながります。

■街なかの緑のスペースイメージ

街のあちこちに花と緑があって、ちょっと一休みできるスペースもあって、そこにいること来ることが楽しくなるような街並みをイメージしています。ふらっとぶらっと気軽にお散歩。「まちなか」が憩いの場所になればいいですね。